

様式（第11条関係）
小山町議会議長 様

代表者 渡辺 悦郎

議会報告会実施報告書

開催日時	令和6年2月2日（金）19：00～21：00	
開催場所	小山町健康福祉会館 多目的ホール	
	司会者	広報広聴委員長 渡辺 悦郎
	記録者	（総務建設委員会）池谷 元 （文教厚生委員会）藺田 豊造
	報告者	総務建設委員会 渡辺 悦郎 文教厚生委員会 室伏 辰彦
参加者数	12名（男性：9名、女性：3名）	
議会報告会の概要	報告 (1)未来拠点事業の状況について (2)小山消防署の移転について 意見交換会（ワークショップ） 総務建設委員会 未来拠点事業のこれから 文教厚生委員会 能登半島地震から見る災害への備え	
意見交換会での 主な意見	総務建設委員会 別紙の通り	
	文教厚生委員会 別紙の通り	

<議会報告会の様子>



<総務建設委員会 意見交換会>



<文教厚生委員会 意見交換会>



<総務建設委員会 意見発表>

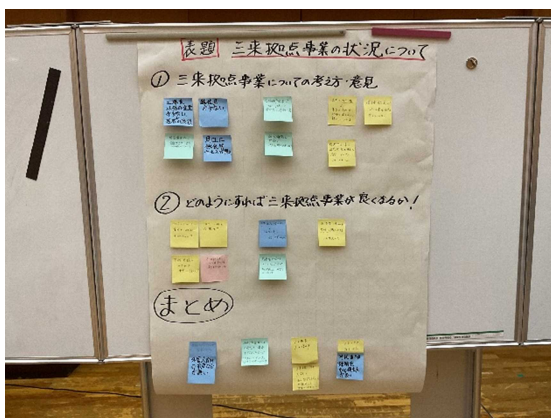


<文教厚生委員会 意見発表>

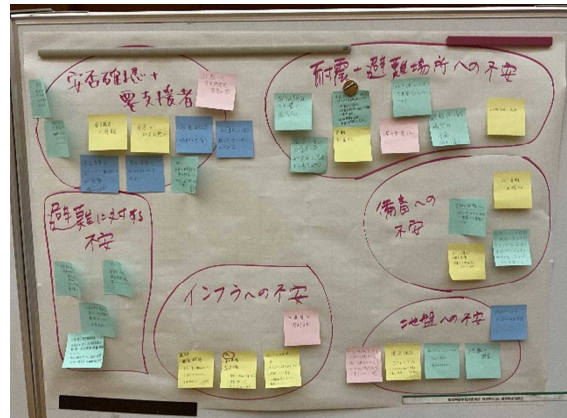


<委員会ごとのまとめ>

・総務建設委員会



・文教厚生委員会



令和5年度小山町議会報告会で町民から出た意見

小山町議会総務建設委員会

令和6年2月2日（金）に健康福社会館を会場にして、本年度の議会報告会を開催しました。前段の議会報告に続き、参加者との意見交換（ワークショップ）を行ない、総務建設委員会では「三来拠点事業の状況について」をテーマに話し合いをしました。

◆意見交換（ワークショップ）で出た意見◆

三来拠点事業についての意見・考え方

- ・製造業以外の企業が少ないので若者が流出してしまう。
- ・小山町に住む場所が少ない。
- ・工業団地で働く人を小山町に定住させるには？
- ・外国人労働者でなく、日本人労働者を増やすには？
- ・工業団地周辺に飲食店が無い。
- ・工業団地で働く外国人の防災対策は？（緊急避難時の言葉の問題など）
- ・裾野市のように企業が撤退した場合を考えているのか？（人口減少・税金の減少など）
- ・工業団地を造った事で、小山町の豊かな自然が守れるのか？
- ・企業の選定理由は？

どのようにすれば三来拠点事業が良くなるのか

- ・地元で仕事を探している方や転職希望者に工業団地に進出している企業をPRする。
- ・湯船原工業団地の企業に工業会を作って貰う。
- ・小山町の為になる企業を誘致する。

その他全般に渡って

- ・進出してきた企業の商品を町民は安く購入したい。
- ・高校生のバイト先が無い。
- ・パート・アルバイトの雇用が増えるのか？
- ・高齢者向けにアプリで無く、紙媒体で情報を伝えて欲しい。
- ・移住したい人向けの田舎暮らし体験などを企画して欲しい。
- ・部署移動が多い役場の職員を専門職化して欲しい。
- ・包括支援に繋がる事業なのか？
- ・シルバー人材への配慮は？
- ・都会から移住したくても物件が無い。
- ・ふじの麓農園の紫色の光で夜空の星が見えにくくなった。

令和5年度小山町議会報告会で町民から出た意見

小山町議会文教厚生委員会

令和5年度の議会報告会を令和6年2月2日（金）に健康福社会館を会場にして開催しました。前段の「小山消防署の移転について」の報告に続き、後段では「能登半島地震から見る災害への備え」を文教厚生委員会のテーマとし、参加者との意見交換（ワークショップ）を行ないました。

◆意見交換（ワークショップ）で出た意見◆

耐震＋避難場所への不安

- ・老朽化した家屋への不安（耐震不足）。
- ・避難場所が雨漏り。
- ・道路に面した法面への不安。
- ・塀の耐震化が不足。
- ・町役場は大雨等に耐えられるか。

安否確認＋要支援者への備えの不安

- ・人口減少による自主防災会の人手不足。
- ・要支援者を含む安否確認に対する事前情報の不足（民生委員からの情報も）。
- ・孤立集落に対するシミュレーションは。
- ・外国人にはどう伝えればいいのか。

避難に対する不安

- ・災害時の安否確認は誰が。
- ・成美地区の避難場所は健康福社会館だが、遠く、危険個所が多い。
- ・各地区では住民、家族等の情報が整備されていない。

インフラへの不安

<橋>

- ・白岩の橋が崩れそう。

<道路>

- ・普段の通行止め（R246）でも、小山、音淵、落合、生土、菅沼では大渋滞になる。
- ・東名工事等で痛みが激しい。

<水>

- ・水道管の老朽化と耐震不足。

<備蓄>

- ・水、食料の確保、供給は。
- ・トイレ等の装備は。

☆日頃、家族で話し合うことも大事！